

こんしゅう い かみ
今週のことば「生きているものの神」

せいしょ ふくいんしょ
《聖書》ルカによる福音書 20:27, 34-38

しゅつ き しゅう かみ やま
出エジプト記3章に、モーセが神の山
かみ であ ばもん つた
ホレブで神と出会った場面が伝えられて
かみ じこしょうかい
います。ここで神はモーセに自己紹介し
ちち かみ
ています。「わたしはあなたの父の神で
かみ かみ
ある。アブラハムの神、イサクの神、ヤ
かみ
コブの神である」。モーセはイスラエル
たみ つだ つか
の民をエジプトから連れ出すために遣わ
ふ あん かん
されますが、どうしても不安を感じます。
ときかみ い かなら
その時神は言われます。「わたしは必ず
とも かみ
あなたと共にいる」。モーセはさらに神
な と かみ
の名を問いますが、神は「わたしはある。
もの こた
わたしはあるという者だ」と答えます。
あき こと かみ ところ
ここから明らかな事は、神がどんな所
とき わたし とも くだ
でも、どんな時にも私たちと共にいて下
こと かみ はたら せいげん
さるとい事です。神の働きは制限され
じ だい い じんげん
ないのです。いつの時代に生きる人間に

かみ かた
とっても、神はなくてはならない方なの
です。

せいしょ よ かみ せつめい
聖書を読んでみると、神について説明
こと き かみ すがた
していない事に気がつきます。神の姿は
れきし なか でき こと とお わたし しめ
歴史の中の出来事を通して私たちに示さ
れています。

わたし し あと えいえん
私たちは死んだ後で永遠のいのちにあ
えいえん
ずかるのではありません。すでに永遠の
う し あと
いのちを受けているのです。死んだ後の
こと しんぱい こと いま い
事について心配する事よりも、今どう生
しんけん かんが
きるかを真剣に考えなければなりません。
えいえん
永遠のいのちにあずかるものとして、ふ
こうどう ようきゅう
さわしい行動が要求されます。
かみ はたら れきし なか い わたし
神の働きは歴史の中に生きる私たちに
あらか かみ し もの かみ
よって表されます。神が死んだ者の神で
い もの かみ こと
はなく、生きている者の神である事をあ
やくわり わたし あた
かす役割が私たちに与えられているので
す。

ねんかんたい しゅじつ ねん たきの
年間第32主日C年（滝野）